

GENIAC-PRIZE（NEDO懸賞金活用型プログラム）の概要



- 生成AIサービスによる解決が望まれるテーマにおける具体的なニーズに基づき、開発・検証した生成AIアプリケーションを申請してもらい、審査を経て、成果に応じた懸賞金を授与する。
- これにより、様々な地域や業種における企業等による生成AIの社会実装を促進する。

テーマ

懸賞金総額

領域 1

民

- 国産基盤モデル等を活用した社会課題解決AIエージェント開発
（Ⅰ.製造業の暗黙知の形式知化/Ⅱ.カスタマーサポートの生産性向上）**
- ユーザーと開発者が連携して申請、ユーザーの変革に繋がる実証成果を審査

3.5億円

領域 2

官

- 官公庁等における審査業務等の効率化に資する生成AI開発**
- 審査業務として特許審査をモデルとし、情報探索等を効率化するAIを開発、その性能を審査

2.1億円

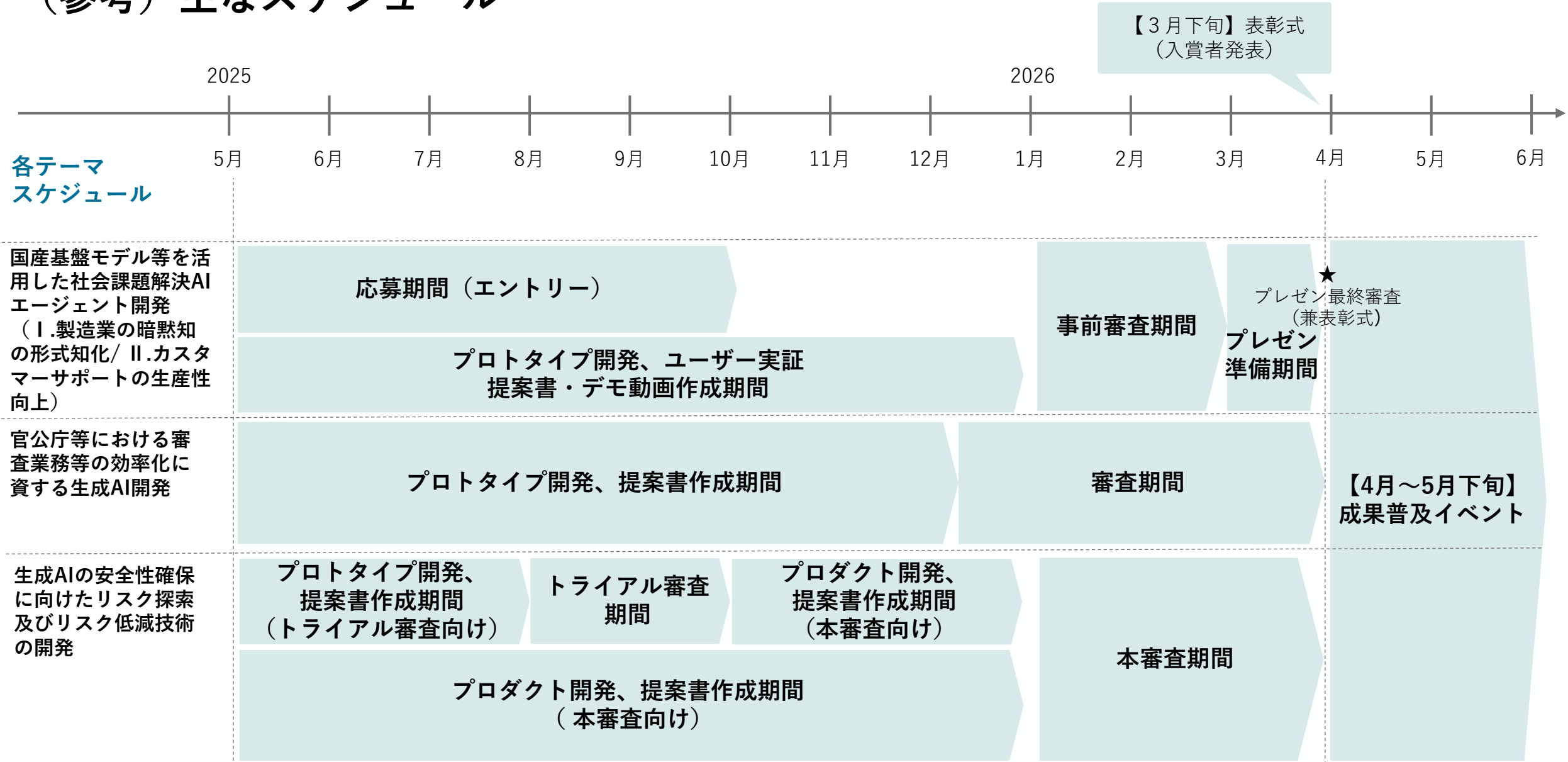
領域 3

安全性

- 生成AIの安全性確保に向けたリスク探索及びリスク低減技術の開発**
- AIのリスクや対応策をセットで提案、評価手法の妥当性や波及効果を審査

2.2億円

(参考) 主なスケジュール



(参考) テーマ間の比較

	国産基盤モデル等を活用した社会課題 解決AIエージェント開発 (Ⅰ.製造業の暗黙知の形式知化/ Ⅱ.カスタマーサポートの生産性向上)	官公庁等における審査業務等の効率化 に資する生成AI開発	生成AIの安全性確保に向けたリスク探 索及びリスク低減技術の開発
応募資格	ユーザー：法人※1 開発者：法人※1、個人 ・原則ユーザーからの応募 ・ユーザー/開発者で組んで応募も可	法人※1のみ	法人※1のみ
懸賞金	各テーマ 1位 5,000万円 2位 4,000万円 3位 3,000万円 +特別賞	1位 1億円 2位 7,000万円 3位 3,000万円 +特別賞	<トライアル審査> 最低500万円×上位数者 <本審査> 1位 7,000万円 2位 5,000万円 3位 3,000万円 +特別賞
応募内容	・提案書 ・デモ動画	・提案書 ・プロトタイプ	・提案書 ・プロトタイプ／プロダクト
国産基盤モデル	開発・実証は必須	活用すれば加点	活用の有無は問わない

※ 法人：日本国内の法人（企業、大学、国研等）及び団体（官公庁、地方公共団体等）

NEDO 懸賞金活用型プログラム

GENIAC PRIZE

想像し、解放し、創造する。

官・民・
安全性で
4つのテーマ

懸賞金総額

8億円

結果発表

2026年
3月末

Judge (他の審査者は懸賞広告を参照)

デジタル庁



Generative AI Japan

AISI Japan
AI Safety
Institute



M 松尾・岩澤研究室
MATSUO-IWASAWA LAB UTOKYO



NII
大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構
国立情報学研究所

主催：経済産業省/NEDO # GENIAC #GENIACPRIZE #NEDOChallenge



GENIAC-PRIZEは、生成AIの社会実装を目的に
経済産業省とNEDOが立ち上げたプロジェクトです。

生成AIによる解決が望まれるテーマに即した具体的なニーズに
基づく生成AIサービスを開発・実証・応募いただき、
審査を経て、成果に応じた懸賞金を授与します。

ユーザー の变革

国産基盤モデル等を活用した 社会課題解決AIエージェント開発

- ・ 概要：製造業の暗黙知の形式知化/カスタマーサポートの生産性向上に資する国産基盤モデル等を活用したAIエージェントの開発、実装
- ・ 懸賞金：1位5,000万円、2位4,000万円、3位3,000万円 他

高度な 情報探索

官公庁等における審査業務等の効率化

- ・ 概要：官公庁の共通ニーズである審査業務（特許審査業務をモデルとする）効率化に資する生成AI開発
- ・ 懸賞金：1位1億円、2位7,000万円、3位3,000万円 他

AI セーフティ

生成AIの安全性確保に向けたリスク探索 及びリスク低減技術の開発

- ・ 概要：生成AIの安全性に関わるリスクの特定と当該リスク低減技術の開発
- ・ 懸賞金：1位7,000万円、2位5,000万円、3位3,000万円 他

お問い合わせ
geniac_prize@bcg.com



詳細はこちらから
https://www.nedo.go.jp/koubo/CD2_100402.html